

ともに支え合う健康で心豊かなまちづくり

第7回

地域共生 社会推進 全国サミット inかが



2025年 11月20日(木) 21日(金)

会場 加賀市文化会館 他
(加賀市山代温泉北部2丁目68番地)

記録集

令和7年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業



第7回 地域共生社会推進全国サミット in かが ともに支え合う健康で心豊かなまちづくり

■大会概要

本サミットは、有識者による講演や全国の先進事例の紹介などを通じて、「支える側」「支えられる側」という関係や世代、分野を超えて、多様な人がつながり支えあう「地域共生社会」について、誰もが住み慣れたまちで安心して暮らすために、市民、各種団体、事業者、自治体職員などが我が事として考え、理解を深めることを目的として開催した。

■主 催

石川県加賀市

■主 管

第7回地域共生社会推進全国サミット in かが実行委員会

■後 援

公益社団法人 日本医師会
公益社団法人 日本歯科医師会
公益社団法人 日本薬剤師会
社会福祉法人 全国社会福祉協議会
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
公益社団法人 日本社会福祉士会
一般社団法人 日本介護支援専門員協会
公益社団法人 日本介護福祉士会
認定 NPO 法人 市民福祉団体全国協議会
石川県

■協 力

厚生労働省 東海北陸厚生局

目次

* 敬称略・順不同 *

* 所属・職名等は開催当時のもの *

◎ 大会概要	1
◎ 目次	2
◎ プログラム	4

1日目：11月20日(木)

◎ 開会式	5
-------	---

- 【主催者挨拶】 実行委員会会長 加賀市長 山田 利明
- 【来賓祝辞】 厚生労働大臣 上野 賢一郎
- 代理 社会・援護局 地域福祉課 女性支援室 室長 中村 彩子
- 石川県知事 馳 浩
- 衆議院議員 佐々木 紀 代理 秘書 道券 正明
- 参議院議員 宮本 周司 代理 秘書 不破 行大
- 加賀市議会議長 山口 忠志
- 【来賓紹介】 石川県議会議員 高辻 伸行

◎ 基調講演	12
--------	----

すべての世代が安心して暮らせる地域社会へ

〈講師〉 近藤 克則 千葉大学予防医学センター特任教授 医療経済研究機構 研究部長

◎ 加賀市の事例紹介	25
------------	----

いきがい！やりがい！生きやすく、いきいきした地域づくり

- 〈司会〉 永田 祐 同志社大学 社会学部 教授
- 〈登壇者〉 飯貝 誠 公益財団法人あくるめ 理事兼事務局長
- 吉田 みち代 ゆたか助産院 院長、HappyAXIA 代表（加賀市）、（公社）日本助産師会 理事
- 古井 正美 山代地区高齢者こころまちセンター 山代すみれの家 管理者
- 石尾 大輔 ひきこもりソーシャルブリッジプロダクション

2日目：11月21日(金)

◎ 特別講演	47
--------	----

地域ケアサービスの再生存続を考える

〈講師〉 山崎 史郎 地域共生政策自治体連携推進機構 顧問

奈井江町の特養の増築と老健廃止による看多機、障がい者グループホームへの転用 コルクえべつの共生社会の挑戦

〈先行事例事業者〉 対馬 徳昭 つしま医療福祉グループ代表

◎ 分科会 A 60

～平時も災害時も安心な地域を目指して～ 日常、災害、障がい、個別避難

- 〈司 会〉 鍵屋 一 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部教授
- 〈登壇者〉 大石 賢斉 医療法人山桜会 栗倉医院 院長
- 坂本 津留代 神戸市民生委員児童委員協議会 理事長
- 藤平 淳一 石川県聴覚障害者協会 業務執行理事
- 水野 忠幸 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難支援担当）

◎ 分科会 B 81

～ライフデザインについて～ 若者が描くライフデザイン

- 〈司 会〉 齊藤 英和 「プレコンセプションケアの提供のあり方に関する検討会」構成員
栄賢会 梅ヶ丘産婦人科 ART センター長
- 〈登壇者〉 橋爪 孝明 こども家庭庁 長官官房長参事官（総合政策担当）付ライフデザイン支援室長
- 落合 歩 リクルート プライダル総研 所長
- 赤澤 純代 金沢医科大学病院女性総合医療センター センター長
加賀市ライフデザイン推進機構 アドバイザー
- 上田 美穂 山梨県総合県民支援局子育て・次世代サポート課 こども支援対策監
- 溝田 友里 静岡社会健康医学大学院大学 准教授
厚生労働省 健康・生活衛生局 参与/医政局 参与

◎ 分科会 C 102

持続可能な地域介護・福祉サービス体制の構築

- 〈司 会〉 大島 一博 筑波大学 教授（協働大学院）
- 〈登壇者〉 大熊 充 うきはの宝株式会社 代表取締役
- 黒岩 尚文 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 理事長
- 党 一浩 福岡市認知症フレンドリーセンター センター長
- 森田 有紀 NPO 法人とかの元気村 副理事長 あったかふれあいセンターとかのコーディネーター

◎ 分科会 D 124

～子どもたちの笑顔がいきかう地域の取り組み～ こどもの居場所がある地域づくり

- 〈司 会〉 秋田 喜代美 学習院大学文学部教授 東京大学名誉教授
- 〈登壇者〉 嶋崎 正敏 こども家庭庁 成育局成育環境課長補佐
- 加賀 大資 認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ公共政策領域ディレクター
- 早坂 淳 公立大学法人長野大学 社会福祉学部 教授
- 中村 純二 認定 NPO 法人カタリバ 自治体連携プロジェクトマネージャー


◎ 引継式 149

- 加賀市長 山田 利明 泉佐野市長 千代松 大耕

● 実行委員会名簿 153

第7回 地域共生社会推進全国サミット in かがプログラム
 とともに支え合う健康で心豊かなまちづくり

サミット1日目 令和7年11月20日(木)

時間	内容	会場	出演者 (敬称略・順不同)	所属・肩書
12:45 13:00	 歓迎アトラクション ♪ ♪			南陽園太鼓倶楽部ふれあい和太鼓
13:00 13:30	開会式			
13:30 13:35	基調講演		講師 近藤 克則	千葉大学予防医学センター 特任教授 医療経済研究機構 研究部長
13:35 14:45	すべての世代が安心して暮らせる地域社会へ		司会 永田 祐	同志社大学 社会学部 教授
14:50 16:30	加賀市の事例紹介 いきがい! やりがい! 生きやすく、いきいきした 地域づくり	文化会館 ホール	登壇者 飯貝 誠	公益財団法人あくるめ 理事兼事務局長
			登壇者 石尾 大輔	ひきこもりソーシャルブリッジプロダクション
			登壇者 古井 正美	山代地区高齢者こころまちセンター 山代すみれの家 管理者
			登壇者 吉田 みち代	ゆたか助産院 院長 HappyAXIA代表(加賀市) 公益社団法人日本助産師会理事
18:00 20:00	交流会	加賀百万石		

サミット2日目 令和7年11月21日(金)

時間	演目	会場	出演者 (敬称略・順不同)	所属・肩書
09:30 10:30	特別講演	文化会館 ホール	講師 山崎 史郎	内閣官房参与 内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局 統括事務局長
			先行事例 事業者 対馬 徳昭	つしま医療福祉グループ代表
10:30 12:00	分科会 A ~平時も災害時も安心な地域を 目指して~ 日常、災害、障がい、個別避難	文化会館 ホール	司会 鍵屋 一	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部教授
			登壇者 大石 賢斉	医療法人山桜会 粟倉医院 院長
			登壇者 坂本 津留代	神戸市民生委員児童委員協議会 理事長
			登壇者 藤平 淳一	石川県聴覚障害者協会 業務執行理事
			登壇者 水野 忠幸	内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(避難支援担当)
10:30 12:00	分科会 B ~ライフデザインについて~ 若者が描くライフデザイン	文化会館 201・202 会議室	司会 齊藤 英和	「プレコンセプションケアの提供のあり方に関する検討会」 構成員 栄賢会 梅ヶ丘産婦人科 ARTセンター長
			登壇者 赤澤 純代	金沢医科大学病院女性総合医療センター センター長 加賀市ライフデザイン推進機構 アドバイザー
			登壇者 上田 美穂	山梨県総合県民支援局子育て・次世代サポート課 こども支援対策監
			登壇者 落合 歩	リクルート プライダル総研 所長
			登壇者 溝田 友里	静岡社会健康医学大学院大学 准教授 厚生労働省 健康・生活衛生局 参与/医政局 参与
			登壇者 橋爪 孝明	こども家庭庁 長官官房参事官(総合政策担当)付 ライフデザイン支援室長
13:20 15:00	分科会 C ~持続可能な地域介護・ 福祉サービス体制の構築~	文化会館 ホール	司会 大島 一博	筑波大学大学院 教授
			登壇者 大熊 充	うきはの宝株式会社 代表取締役
			登壇者 黒岩 尚文	全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 理事
			登壇者 党 一浩	福岡市認知症フレンドリーセンター センター長 長
			登壇者 森田 有紀	NPO法人とかの元気村 副理事長 あつたかふれあいセンターとかの コーディネーター
13:20 15:00	分科会 D ~子どもたちの笑顔がいきかう 地域の取り組み~ こどもの居場所がある地域づくり	文化会館 201・202 会議室	司会 秋田 喜代美	学習院大学教授 東京大学名誉教授
			登壇者 加賀 大資	認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 公共政策ディレクター
			登壇者 中村 純二	認定NPO法人カタリバ 自治体連携プロジェクトマネージャー
			登壇者 早坂 淳	公立大学法人長野大学 社会福祉学部 教授
			登壇者 嶋崎 正敏	こども家庭庁 成育局成育環境課長補佐
15:10 15:30	引継式	文化会館 ホール		次回開催地は大阪府泉佐野市



第7回 地域共生社会推進全国サミット in かが
ともに支え合う健康で心豊かなまちづくり

開会式



開会式

令和7年11月20日(木) 13:00▶13:30 加賀市文化会館 ホール



主催者挨拶

第7回地域共生社会推進全国サミット in かが実行委員会 会長
加賀市長

やまだ としあき
山田 利明 氏

来賓祝辞

厚生労働大臣

うえの けんいちろう
上野 賢一郎 氏

代読 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 女性支援室 室長

なかむら あやこ
中村 彩子 氏

石川県知事

はせ ひろし
馳 浩 氏

衆議院議員

さ さ き はじめ
佐々木 紀 氏

代読 秘書

どうけん まさあき
道券 正明 氏

参議院議員

みやもと しゅうじ
宮本 周司 氏

代読 秘書

ふ わ ゆきひろ
不破 行大 氏

加賀市議会議長

やまぐち ただし
山口 忠志 氏

主催者挨拶

加賀市長 **山田 利明**



皆様、本日は第7回地域共生社会推進全国サミット in かがにご参加いただき、誠にありがとうございます。全国各地からお越しいただいた皆様を加賀市を代表して、心より歓迎申し上げます。市内県内より約400名、そして県外から約400名、合わせて800名の方々がこの加賀市文化会館に集まり、多くの皆様に支えられて、このサミットを開催できることを心からうれしく思います。

このサミットは、「ともに支え合う健康で心豊かなまちづくり」をテーマとし、各地で重ねられてきた取り組みの知恵と経験を共有し、ともに学び合う場です。第7回目の開催地として本市がそのバトンを受け取ることができたことを大変光栄に思います。

今回のサミットの特徴といたしまして、防災やライフデザインなどといった重要な分科会を開催いたしますので、これらの分野における取り組みを深めていただければ幸いです。

加賀市は古くから温泉文化とものづくりのまちとして栄えてきました。山代・山中・片山津の3つの温泉を中心に、豊かな自然と伝統が息づき、人々のつながりによって地域が育まれてきました。しかし近年、少子高齢化や人口減少が進み、地域の担い手や支え合いの仕組みの再構築が求められています。

今回のサミットを通じて福祉・医療分野のみならず、健康・観光・まちづくり・教育・産業など多様な分野が交わり合いながら地域共生のあり方を考えることができればと願っております。

地域共生社会の実現には、行政だけではなく、市民・事業者・教育機関・NPO法人など、地域を構成するすべての主体が関わり合うことが欠かせません。まさに「ごちゃまぜ」の発想こそが持続可能な地域をつくる力になると確信をいたしております。

今回の開催にあたり、企画・運営の段階から多くの市民や団体、企業の皆様に参画をいただきました。これらを通じて、まちの中に新たな対話が生まれ、つながりが育まれたこと自体がこのサミットの大きな成果のひとつであると感じております。

こうした協働の輪を今後の地域づくりにも活かしてまいりたいと思っております。

今回のサミットの議論や交流を通して、地域共生社会の理念がより身近なものとなり、全国の皆様とともに新しい一歩を踏み出すきっかけとなることを期待しております。

そして、ここから加賀から発信される小さな実践が、全国へと繋がっていくことを心より願っております。

あわせて皆様方には、本市の温泉、食事も大いに満喫していただければ幸いです。

結びに、本サミットの開催にあたりご尽力いただきました関係各位、そして全国からお越しくださった皆様に改めて感謝を申し上げます。

本サミットが学びと気づきとなりますことを祈念し、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



来賓祝辞

厚生労働大臣

上野 賢一郎

代読 社会・援護局 地域福祉課 女性支援室 室長

中村 彩子



皆様こんにちは。本日は第7回地域共生社会推進全国サミット in かがの開催を心よりお喜び申し上げます。

本日は本来であれば、上野厚生労働大臣の方から、この場にてご挨拶をさせていただくべきところでございますが、本日はどうしても公務の都合上、こちらに参加をすることができませんでしたので、私の方からご挨拶を代読をさせていただきたいというふうに思います。

本日第7回地域共生社会推進全国サミット in かがが多くの皆様のご参加のもと盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、サミットの主催者である加賀市を始め、開催にあたりご尽力いただいた実行委員会の皆様方に対し、心から敬意を表します。

我が国では、2040年に向け社会構造が大きく変化していく中で、これまで社会において頼りとしてきた地縁、血縁、社縁といった繋がりや支え合いの基盤が弱まり、孤立化が進みやすい状況が続いていくことが想定されます。このため、人と人との繋がりを再構築し、誰もが役割と生きがいを持ち、互いに支えたり支えられたりする関係が循環する地域社会、社会経済活動の基盤として、人と資源が循環し、幅広い関係者の参加と協働により、持続的発展が期待できる地域社会の2つの視点からなる地域共生社会の実現を目指していくことが、今求められています。

本サミットは、加賀市民、産・官・学・民から30団体が参加するサミット実行委員会関係の皆様が、市民力、地域力を最大限に生かし、サミットを契機として、福祉分野にとどまらず、健康、観光、まちづくり、教育など多様な分野が連携し、ごちゃまぜの地域共生社会への理解を深めるとともに、その実現に向けた具体的な取組を検討すること、企画運営や構成の段階から市民や事業者と協働することで、地域全体での機運を醸成することを大切に準備をされてきており、このプロセスこそが地域共生社会のあり方そのものだと感じています。

厚生労働省では、昨年6月から地域共生社会の在り方検討会議で地域共生社会の実現に向けた取組の方向性等の検討を進めており、本年5月に中間とりまとめが行われました。

今後は中間とりまとめを踏まえ、制度改正も見据え、より具体的な検討を進めて参ります。本サミットで現場の生の声を聞かせていただきたいと考えています。

本サミットでは、ともに支え合う健康で心豊かなまちづくりというテーマにふさわしく、福祉分野以外の多くの分野の方々の参加を得て、活発な意見交換が行われ、実りある2日間になるよう期待しております。

最後になりますが、大会の成功と本日ご参加いただいている皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、私の祝辞といたします。

令和7年11月20日

厚生労働大臣 上野 賢一郎



来賓祝辞

石川県知事 馳 浩



皆さんこんにちは。お元気ですか。そこでひときわ元気のいいのは南砺市長の田中幹夫さんですね。いつもありがとうございます。

加賀でこうした意義ある大会が開催されることに心から感謝申し上げます。また、引き受けていただいた山田市長はじめ加賀市民の皆さんに感謝申し上げます。

さて、石川県で、こうした地域共生推進社会についてどういう取り組みをしているのかをいくつか紹介したいと思います。

まずは、令和6年能登半島地震の際に、ここ加賀温泉郷、小松市や白山市などで、一気に3万人近い広域避難の方々を引き受けていただきました。高齢者の方が多く、障害のある方もいる中で、そうした方々が安心して命をつなぐことができるように、加賀市内では約50もの関係団体が協力をして、広域避難の方々を9ヶ月間にわたりお世話していただいたということを報告したいと思います。

次に、里帰り出産についてです。データを調べたところ、石川県では妊婦の4人に1人が里帰り出産でした。妊婦さんの不安は様々あるというのを理解いただけたと思いますし、里帰り出産は勝手も違います。そこで石川県では、いしかわ妊娠・出産サポートセンターを昨年立ち上げ、登録いただいた妊婦さんの実家等に助産師を派遣しています。

また、ひきこもりの方に対する支援として、これまでは県の中央部に位置する金沢市にしかひきこもり地域支援センターがなかったのですが、北部の能登地域、そして南部の加賀地域にもセンターを設置しました。さらに、県内19の市町も、それぞれひきこもりの方へ対応する担当者を置いて、県と情報を共有しています。

次に、全国で初めての取り組みとして、県立の金沢向陽高校に、近隣のいしかわ特別支援学校の知的障害教育部門の高等部を併設しました。同時に、地域の皆さんと高等部の生徒との交流のためのカフェを作りました。今後、小松市の小松特別支援学校に能美市から通う児童生徒のために、能美市にある県立寺井高校の敷地内に特別支援学校を設置することとしています。

また今年は、北陸では初となる夜間中学校を金沢市に設置しました。夜間中学校では、様々な事情で義務教育を終えることができなかった方や不登校の生徒が通い学ぶことで、義務教育を修了することができます。

さらに、不登校の児童生徒への支援についても、学校に行っても学びたいが自分のクラスに入りづらい子どもたちのために、別室登校の教室があります。この教室には、3年前から徐々に専任教員を増やして、今は30名を配置しています。

各都道府県でも、それぞれ取り組みがあると思いますが、こうして石川県の取り組みを紹介させていただきました。

みんなで協力し合って、その上で、そうだな、こういう方式が取れるんだなど、そしてそれを実践していただくこと、その話し合いをこういう場を通じてお互いに紹介し合い、よりよい社会をつくっていくこと、それが本当の共生社会の推進に繋がると私は信じております。

最後に、本サミットが大きな成果を上げられますこと、また地元で引き受けられた山田市長にも敬意を表しまして、お祝いとさせていただきます。

来賓祝辞

衆議院議員

佐々木 紀
道券 正明

代読 秘書



今ほどご紹介いただきました衆議院議員佐々木の秘書でございます。

本日は東京にて公務があり、本人よりメッセージを預かって参りました。代読をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

第7回地域共生社会推進全国サミット in かがの開催、誠におめでとうございます。全国からお集まりの自治体、保健、医療、福祉、まちづくりの関係者の皆様に心より敬意を表します。

人口減少や地域の繋がりなど、私たちの社会は大きな転換期を迎えています。今こそ、ともに支え合い、健康で心豊かなまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる地域社会を築くことが求められています。

本サミットでの議論と交流が、新たな連携と実践を生み出し、地域共生社会の実現に向けた大きな力となることを期待いたします。

本開催に尽力されました皆様に深く敬意を申し上げます、さらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

令和7年11月20日

国土交通副大臣 佐々木 紀

本日の開催、誠におめでとうございます。

来賓祝辞

参議院議員

宮本 周司
不破 行大

代読 秘書



ただいまご紹介いただきました参議院議員 宮本周司の秘書の不破と申します。

本日は宮本議員が東京での公務のため、こちらの方に出席がかなわず、メッセージを預かって参りましたので、代読させていただきます。

第7回地域共生社会推進全国サミット in かがが盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

少子高齢化や地域課題が複雑化する中で、誰もが安心して暮らせる地域づくりには、行政、福祉、医療、教育、そして住民一人一人の連携が欠かせません。

本サミットがその連携をさらに深め、全国の地域に新たな知恵と活力をもたらす機会となりますことをご期待申し上げます。

開催に際し、関係各位のご尽力に深く敬意を表しますとともに、ご参集の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和7年11月20日

参議院議員 宮本 周司

本日は誠におめでとうございます。

来賓祝辞

加賀市議会議員 山口 忠志



第7回地域共生社会推進全国サミットが開催されますことを心よりお喜び申し上げますとともに、開催市として、全国各地からお越しいただきましたことに心より歓迎を申し上げます。

開催市の市議会を代表して、一言ご挨拶をさせていただきます。

地域共生、福祉はもちろんですが、医療や行政、そしてともすると今、町内会でも、或いは、企業のこれからのあり方にも地域共生は問われてくる。そういった全てに当てはまるような地域共生だろうと思っておりますし、これからますます重要性が増していくものと考えております。

そのような中で、今、情報化社会でAIやITを駆使し、新しい地域共生のあり方や、それとは逆に、希薄になった人間関係を修復する、人の心と心を再びつなぐ、そのような人間関係を再構築していく、そういった共生もますます重要視されていくと思っております。

今回の開催が、皆様方のこれまでの知見と経験をもとに、この共生の考え方、あり方が、さらに深く広くなることを心からご祈念申し上げます。

この加賀市は、豊かな自然もありますし、先ほど市長の言葉にもありましたけれども、山代、山中、片山津それぞれのエリアに温泉文化があります。旅館にお泊まりの方にはぜひ温泉を堪能していただいて、ホテルにお泊まりの方も、その3温泉に必ず総湯という共同浴場もありますので、ぜひ、ご利用いただきたいと思っております。食べ物もおいしいですし、伝統工芸では、九谷焼や山中塗もあります。ぜひ触れていただいて、そして最後にお買い求めいただきたいと思っております。

あらためて本会のご盛会を心から念じまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

